

船舶インシデント調査報告書

平成30年3月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成29年11月15日 07時30分ごろ
発生場所	熊本県上天草市姫戸港南東方沖 雨竜埼灯台から真方位123° 1.4海里付近 (概位 北緯32° 25.2′ 東経130° 26.8′)
インシデントの概要	プレジャーボート銀河丸は、南西進中、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成29年11月17日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 銀河丸、5トン未満（長さ6.56m）
船舶番号、船舶所有者等	292-39996熊本、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約3m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、釣りの目的で姫戸港南東方沖を南西進中、アウトドライブ（船内外機の推進器部）付近から異音と振動を生じた。</p> <p>本船は、船長が、主機を停止し、アウトドライブを上げて推進器の点検を行ったが、異常を認めなかったため、同ドライブを下げて主機を始動したものの異音と振動が治まらず、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。</p> <p>本船は、船長が118番通報を行い、来援した巡視艇によって上天草市二間戸港にえい航された。</p> <p>本船は、本インシデント後、機関整備業者が点検を行った結果、アウトドライブ内部のユニバーサルジョイント（自在継手）及び動力伝達歯車部が破損し、ユニバーサルジョイントのゴム製カバーの亀裂部から海水が内部に浸入し、アウトドライブ内の潤滑油が白濁しているのが認められた。</p> <p>本船は、平成7年8月に進水し、船長が平成28年10月ごろ中古で購入しており、購入前の機関の整備及び点検状況が明らかでなく、また、購入後も主機の整備及び点検が行われていなかった。</p>
分析	本船は、アウトドライブ内のユニバーサルジョイント及び動力伝達歯車部が破損したことから、主機の運転ができなくなり、運航不能と

	<p>なったものと考えられる。</p> <p>ユニバーサルジョイント及び動力伝達歯車部は、海水がユニバーサルジョイントのゴム製カバーの亀裂部より浸入して潤滑油に混入し、潤滑が阻害されたことから、破損したものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、アウトドライブ内のユニバーサルジョイント及び動力伝達歯車部が破損したため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に機関の点検及び整備を行うこと。